

## 4-1. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

## (1) 人間社会科学部

学科	修業年限	卒業要件 (合計)	必修・選択科目別の必要単位修得数			取得可能学位
			基礎・主題科目	専門基本科目	専門展開科目	
社会福祉学科	4年	132単位以上	30単位以上 (必修12単位・選択18単位)	26単位以上 (必修14単位・選択12単位)	58単位以上 (必修4単位・選択54単位)	学士 (社会福祉学)
子ども教育保育学科			30単位以上 (必修15単位・選択15単位)	26単位以上 (必修12単位・選択14単位)	58単位以上 (必修42単位・選択16単位)	学士 (子ども教育保育学)

※教職科目（自由選択）は、卒業単位の中には含まれません。

[人間社会科学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）](#)

## (2) 医療健康学部

学科	修業年限	卒業要件 (合計)	必修・選択科目別の必要単位修得数			取得可能学位
			基礎・主題科目	専門基本科目	専門展開科目	
理学療法学科	4年	127単位以上	20単位以上 (必修14単位・選択6単位)	34単位以上 (必修33単位・選択1単位)	71単位以上 (必修71単位)	学士 (理学療法学)
作業療法学科			20単位以上 (必修14単位・選択6単位)	32単位以上 (必修31単位・選択1単位)	73単位以上 (必修73単位)	学士 (作業療法学)

[医療健康学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）](#)

## (3) 看護学部

学科	修業年限	卒業要件 (合計)	必修・選択科目別の必要単位修得数			取得可能学位
			基礎・主題科目	専門基本科目	専門展開科目	
看護学科	4年	127単位以上	21単位以上 (必修13単位・選択8単位)	30単位以上 (必修30単位)	76単位以上 (必修76単位)	学士 (看護学)

[看護学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）](#)

## (4) 公衆衛生看護学専攻科

専攻科	修業年限	卒業要件 (合計)	必修・選択科目別の必要単位修得数		取得可能学位
			専門基本科目	専門展開科目	
公衆衛生看護学専攻科	1年	32単位以上	必修8単位	必修23単位、選択1単位以上	-

[公衆衛生看護学専攻科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）](#)

## (5) 大学院

大学院	修業年限	卒業要件 (合計)	必修・選択科目別の必要単位修得数		取得可能学位
			基礎科目・専門科目		
総合リハビリテーション学研究所	2年	30単位以上	必修4単位・選択26単位		修士 (リハビリテーション学)

[大学院総合リハビリテーション学研究所 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）](#)

## 4-2 成績評価及び GPA

単位認定のための成績評価は、「秀」・「優」・「良」・「可」・「不可」・「時数不足」で表わされ、「秀」・「優」・「良」・「可」を合格として所定の単位を認定し、「不可」及び「時数不足」を不合格とします。不合格となった科目の単位は認定されません。成績評価の基準及び GPA は次の表のとおりです。

表示		点数	グレードポイント	
S	秀	100～90 点	4	合格
A	優	89～80 点	3	
B	良	79～70 点	2	
C	可	69～60 点	1	
D	不	59～0 点、試験欠席	0	不合格
F	時	出席時数不足	0	

GPA は Grade Point Average (グレード・ポイント・アベレージ) の略で、欧米の大学などで利用されている国際的な成績評価方法です。履修した科目の成績を不合格科目も含めて 4～0 でポイント化し、その平均値で表します。GPA によって自分の学習効果を自分自身で把握することができるメリットがあります。本学では科目の履修にあたって、単に卒業必要単位を修得するだけでなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。

GPA は、成績優秀者に対する履修制限の緩和や奨学金の選考だけでなく、成績不振者への「警告書」さらに「退学勧告」の基準の一つとしても用いられます。このように、卒業までの様々な選考の指標となりますので、各自の GPA を常に意識し、学習計画を立ててください。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{グレードポイント} \times \text{各科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録単位数の合計}}$$